

会議録（１）

会議の名称	令和２年度 第１回飯能市景観審議会
開催日時	令和２年１１月４日（水） 開会 午後２時３０分 閉会 午後４時５５分
開催場所	富士見地区行政センター 第１会議室
議長氏名	深堀 清隆
出席委員	本池 巧 依田 彩 浅野 正敏 吉田 行男 古島 照夫
欠席委員	なし
説明者の職氏名	建設部長 細田 幸二 建築課長 西島 正樹
傍聴者の数	０名
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	建築課主査 室岡 貴夫 建築課主査 上田 竜司 建築課専門員 田島 慎司

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

議 事

- (1) 飯能市の景観に関する市民意識調査の集計結果について
 - ・事務局から説明をした後、審議を行った。

- (2) 集計結果に基づく分析内容について
 - ・会長が説明をした後、審議を行った。

- (3) 今後の進め方の検討について
 - ・事務局から説明をした後、審議を行った。

- (4) その他
 - ・事務局から今年度のまち歩きについて報告した。

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
建築課長	<p>皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>建築課長の西島でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>当審議会は原則公開となっておりますが、本日傍聴希望者はおりませんのでこのまま進めさせていただきたいと思っております。審議会を始める前に、出欠状況でございますが、吉田委員から遅れるとの連絡がございましたので、出席委員は現在 5 名です。飯能市景観条例第 27 条第 2 項の規定に基づく定足数「2 分の 1 以上」を満たしておりますので、ただいまより「令和 2 年度 第 1 回飯能市景観審議会」を始めさせていただきます。</p> <p>それでは、開会にあたりまして細田建設部長よりごあいさつ申し上げます。</p>
建設部長	<p>皆さん、こんにちは。建設部長の細田でございます。</p> <p>このたびは、飯能市景観審議会委員を引き続きお受けいただき誠にありがとうございます。委員の皆様の任期満了に伴い、委嘱状の交付及び会長選出を行う必要がございましたので、コロナ禍ではございますけれども、やむを得ず対面による会議を開催させていただきましたこと、誠に申し訳ございませんがご理解いただくようお願い申し上げます。さて、本審議会でございますが、これまで景観計画の策定や重要建造物の指定などについてご意見を頂戴してまいりました。本日は、これらをさらに推進していくにあたり、市民アンケートを実施し、深堀委員に分析いただいたことについてご説明いただきまして、今後の方向性を検討していきたいと考えているところでございます。いずれも慎重なるご審議を賜り、ご意見等を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。以上で開会のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
建築課長	<p>続きまして、委員委嘱に移らせていただきます。委員の皆様には、</p>

<p>建築課長</p>	<p>昨年任期満了に伴い2期目のお願いをしたところ、快くお受けいただきありがとうございます。本来、3月の第2回審議会で委嘱させていただく予定でしたが、本日委嘱状を交付させていただきます。それでは、建設部長よりお渡しいたします。よろしくお願ひいたします。</p> <p><建設部長より委員へ委嘱状を交付></p> <p>任期は2年間ということで、令和3年10月31日までとなります。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、次に「会長の選出」に移らせていただきます。飯能市景観条例第26条、「審議会に会長を置き、委員の互選により定める」となっております。つきましては、委員の皆様から、自薦又は他薦をお願ひしたいと思ひます。いかがでございましょうか。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>できれば引き続き深堀先生に会長をよろしくお願ひしたいと思ひます。いかがでしょうか。</p>
<p>建築課長</p>	<p>ただ今、浅野委員より、深堀会長の再任についてご推薦がありました。委員の皆様、ご意見でございますでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、深堀委員に引き続き会長をお願ひしたいと思ひますのでよろしくお願ひします。深堀会長よりご挨拶を頂戴したいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
<p>会長</p>	<p>ご無沙汰しております、深堀でございます。昨年度は主に景観計画のアンケートを皆様のご協力をいただきながら実施させていただきました。そのことのお礼がずっとできずに来てしまったので非常に申し訳なく思っております。最初に市役所や委員の皆様と、今後のことを考える上で、市民の意識を問うことが重要であろうと相談をさせていただき、また研究室としても一緒にご協力しながらやりたいということを受け止めていただいたところから始まりました。そして学生と一緒に浅野さんのところへ伺ったときに、アンケートの内容についていろいろご相談に乗っていただきました。研究室では足立君という学生がこのテーマをやってくれ、その後吉田さん、古島さんにそれぞれ</p>

れ素案をお持ちして、いろいろご意見をいただき内容を修正しました。思い出されるのは、依田先生の事務所まで足立君が何度も伺いまして、アンケートの編集についてご指導をいただいたということがありました。本池先生にも、研究でこの成果をご活用いただくような話もいただきまして、これはいいなと思っています。市役所の皆様と審議会委員の皆様にご協力をいただきながらなんとか実施できたアンケートを一番頑張ってくれた足立君本人が3月に発表するという予定を取ったのですが、残念なことにコロナの問題で叶いませんでした。大学も最初学生が来れなくて、徐々にオンライン化など新しい試みをやりながら運営が進行していきました。気付けば今この時期になってしまい、アンケートのお礼もご報告もできずという期間が長かったので非常に心苦しかったです。今日足立君は来れないため代わりに私からご報告をさせていただきますが、このアンケートは、宮沢地区に加えて飯能市で一番の主演である中心市街地を重点地区として考えていくために行いました。これで終わりではなくて、むしろこれからこの情報を使って何ができるか、ということについてたくさんご意見いただければと思っております。また、ご存じのとおりコロナウイルスを我々が経験し、景観づくりにおいても県内でも他市が先行していろいろな試みをやっておりますが、それを後から追いかけるだけではたぶん駄目で、なにかしらアフターコロナについて考えなくてはいけないと思っています。コロナが終わっても、SARS や MARS のように感染症がまた災害として起こるだろうと考えると、企業だけの問題ではなく、社会が住環境、公的な諸々のサービス、緑地、自然、オープンスペースといった屋外の空間も含めて新しい取組を始めていかなければならない状況になっています。景観の問題はそれらに非常に絡むものと思っておりますので、そういう意味でもアンケートの話だけでなく、皆様がこの期間いろいろとお考えになったことも含めて飯能市の景観づくりを議論できるのかなというふうに思っております。再スタートという形で、景観についていろいろと議論をしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

建築課長

ありがとうございました。続きまして、「職務代理者の指名」に移ります。飯能市景観条例第26条第3項の規定により、「会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する」こととなっております。会長よりご指名をお願いします。

会長	本池先生にお願いできればと思います。
建築課長	ただいま、本池先生に引き続きということでご指名がありました。よろしく願いいたします。それでは、ご挨拶を頂戴したいと思しますので、よろしく願いします。
本池委員	引き続き職務代理者ということで、深堀会長をサポートしていきたいと思っております。本学もまだ大学で授業が出来ていない状況です。ちょうど今、別の形で、研究の一環で飯能市の魅力をもう一度洗い出そうという取組を進めている中で、今回いただいたこちらのアンケートがすごく参考になっています。これを生かして、飯能市の魅力を何か見つけられるような研究をしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。
建築課長	<p>ありがとうございました。議事に入ります前に資料の確認をさせていただきます。</p> <p>配布資料は、</p> <p>会議次第</p> <p>委員名簿</p> <p>飯能市の景観に関する市民意識調査 結果報告書</p> <p>飯能市の景観に関する市民意識調査 分析報告書</p> <p>以上でございます。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議事に移らせて頂きたいと思えます。</p> <p>飯能市景観条例第 27 条第 1 項の規定により、会議の議長を深堀会長にお願いします。</p>
会長	それでは、最初の議題「飯能市の景観に関する市民意識調査の集計結果について」ということで、事務局から説明をお願いします。
事務局	<資料に基づき説明>
会長	事務局からの説明は以上です。委員の皆様からご意見、ご質問等がございますか。
浅野委員	飯能市の景観イメージは、自然に関する回答が多く、建造物は少

	<p>ないというアンケート結果からみると、やはり緑と清流の印象が強いと改めて感じました。また、市民が主体的に動くのではなく、行政が決めたことには従う、という意識が強いことが、まちづくりに長年携わってきた立場からすると少し意外に感じました。</p>
会長	<p>他にご意見等はございますか。</p>
古島委員	<p>問9について、「公共施設のデザインを高める」とありますが、少なくとも名栗地区、原市場地区は公共施設を建替える際に西川材を使用した木造建築を計画してほしいです。</p>
建設部長	<p>ご指摘のとおり、例えば新図書館は、木造の部分が飯能市らしくて非常にいいと高い評価をいただいております。予算的な制約などはありませんが、いただいたご意見を参考にしていきたいと思っております。</p>
吉田委員	<p>アンケート結果とは直接関係ないですが、コロナウイルスの影響もあってか市街地の空き地が増えているように思います。今後の動きが心配ですが、市街地の現状はどうなっているのでしょうか。</p>
建設部長	<p>駅前の居酒屋チェーン店等では閉店されたところがあるようです。昔から営業されているお店は、やめられたところはあまり多くないという印象がございます。</p>
吉田委員	<p>全国的に、商店街は大きなダメージを受けています。土地建物が自己所有ならば経費が比較的少なくて済みませんが、賃貸のケースでは市内でも廃業するところが出てきています。内情は非常に厳しい状況です。</p>
会長	<p>他にご意見等はございますか。</p>
本池委員	<p>市民の目線では自然景観に注目が集まりがちですが、外部の方は意外とそう思っていないと感じました。飯能市内の三次元360度写真などを見ると、神社仏閣やほこら等が圧倒的に多く、しかもどなたかがきちんと整備や手入れをされています。それは地味な活動ですが、外部の人から評価されている部分になっていると思います。残念だったのは問13の選択肢中、ワークショップへの参加意向が低かったこと</p>

<p>浅野委員</p>	<p>です。外部の視点を交えることで、自分たちの魅力や地道な活動が脚光を浴びて、評価されるということも出てくるだろうし、啓発活動としてもそういったところに取り組んでいかなければならないのでは、と感じました。</p> <p>地元の人には当たり前に見えていて重要なものとは思っていないものが、外から来るとそうではなくて、それが飯能市の魅力になっているのかもしれない。</p>
<p>会長</p>	<p>このアンケートは市民を対象に行いましたが、外から見た飯能市の魅力に市民はまだ気づいていません。歴史や文化を学ぼうというよりも自然重視の認識をする方が多いですが、歴史的、文化的に価値のあるものが自分たちの地域にある、というシビック・プライドを持つことで、間接的に外から見てユニークなものが地域に長く残って、景観づくりに繋がっていきます。そこに市民が気付いていくための仕掛けをつくってあげれば良いと思います。</p> <p>他にご意見等はございますか。</p> <p>無いようですので、「飯能市の景観に関する市民意識調査の集計結果」については以上とします。</p> <p>次は私のほうで時間をいただいて、「集計結果に基づく分析内容について」のプレゼンテーションをさせていただきます。</p> <p><資料に基づき説明></p>
<p>会長</p>	<p>説明は以上です。この分析内容につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問等はございますか。</p>
<p>依田委員</p>	<p>最初にアンケートの結果を見たとき、市民の景観に対する意識、特に景観ルールに対する許容度が高い印象を受けました。また、自分から進んで景観について学ぼうという意識は低い傾向がありますが、景観ルールを「つくってもらえれば守ります」という行政に対する期待感や信頼があるように思えました。専門家のワークショップなどは「敷居が高いから嫌だ」というのも理解できるので、市民の方に市役</p>

	<p>所に来ていただいて何かやるというよりは、普段出かけていくような場所にこちらからアクションを起こす、あるいは情報を共有することが大事なのかなと感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>堅苦しい雰囲気ではなく、地域の中に溶け込んでやっていく活動もいろいろあります。そういった場で、景観に関して一緒に楽しみながら活動ができるといいのではないかと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>問 14 で、景観に対する危機意識が低いという回答結果がありましたが、それは裏返すと、景観はそれほど悪くないよ、と思っている方が多いということではないでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>設問を確認すると、景観が悪化しているという心配をしていない方は40%を超えています。もちろん心配している方もいらっしゃいますが、全体的に見るとそれほど危機感が高いとはいえない状況となっています。もしかすると、まちとしての危機感というより、景観という表面的なところに対して危機を感じていないのかもしれない。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>現状では、ルールを決める段階ではないということでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>危機があるからルールをつくる、というストーリーにはならないと思います。これ以上景観が悪くなると困るからルールをつくるのではなくて、むしろ自然や歴史的まちなみなど、飯能市が持っている魅力や個性を伸ばして景観をつくっていこうというストーリーの方が馴染むのかもしれない。啓発活動でも、このままいくと景観がボロボロになっちゃうから頑張りましょうね、というものはあまりよくないし効果が薄いです。昔は、まちなかの悪い景観を集めてみんなで批評する、というイベントがあったと聞いたことがあります。そういうやり方はあまり効果はないだろうと思います。</p>
<p>依田委員</p>	<p>危機感と関連があるかは分かりませんが、飯能市にテーマパークが出来たことで宿泊施設等の開発が行われましたか。先日テレビで飯能市が取り上げられたときも、すごくいいところだと言われていたのですが、まちの人気が出て開発が増えたりしているのでしょうか。</p>
<p>建設部長</p>	<p>テーマパークとの因果関係は分かりませんが、実際に住宅が建てら</p>

	<p>れて移り住んでくる方が増えている状況はございます。データのわかっているのは、転出入の社会増減については社会増の傾向が見えています。また、出生、死亡の自然増減に関しては、高齢者が多くて生まれる子どもが少ないため減少しております。市としては、飯能市はこんなにいいところですよ、ぜひ引っ越してください、という PR を一生懸命やっているところです。</p>
浅野委員	<p>市が、市街化調整区域の南高麗地区で、「農のある暮らし」という施策を積極的に行っていて、結構家が建ち若い世代が入ってきたことで全体的に人口を維持していますが、それはすごいことだと思います。</p>
古島委員	<p>「飯能住まい」の制度を利用して入ってくるのは若い人、子どもが幼稚園や小学生に通っていて、地区の活動にも積極的に参加する方が非常に多い印象があります。</p>
会長	<p>このような移住の傾向はコロナウイルス感染症拡大前からありました。小川町で聞いた話では、移住サポートセンターに外部の人が登録し、いろいろな場所を見学して移住を決めますが、登録が昨年度の二十数件から、今年度は現時点で既に昨年度並みの件数になっているようです。またコロナウイルス感染症の影響もあり、これまで以上に移住ニーズが高まるだろうとのことでした。飯能市でも、何かそういうベクトルが働いてくることがあると思います。</p>
建設部長	<p>会長のおっしゃる通り、外出自粛が緩和されてから「飯能住まい」への問い合わせが急増しております。実際に引っ越しを決断されるのはなかなか難しく、100 件に 1 件程度ですがそれでも十分多いと思っています。問い合わせは昨年度の倍ともいえる数があつて、担当職員が毎日現地案内をしているような状況です。</p>
吉田委員	<p>ちょっと心配なのは、人が入ってくる地域が限定していることです。ある世代が一気に入ってきてから 30 年経つと、皆高齢者になります。美杉台も、最初は若い方が多く子どもも居ましたが、今は蕎台の工場のほうに集まっています。世代ごとに固まって開発されると格差が大きくなりますから、そのあたりも考えながらやっていったほうがいいと感じています。</p>

<p>会長</p>	<p>今のお話を景観と繋げると、先ほど危機感に関して、景観の悪化についてはあまり心配されていないと紹介しました。危機感が現れる可能性として、例えばムーミンのような世界観に合わせた景観になっていくことに対し、ちょっとそれはと思う人がいた場合が挙げられるかもしれませんが、データ上はそうでもない感じがします。中心市街地の景観づくりの方向性を考えると、伝統的な和のイメージのまちなみや景観のあり方と、ムーミンとまでは言わないまでも飯能市に移住した方が求めているかもしれない自然や緑への期待感とが両立するかはわかりません。伝統的な和の部分を残していくのか、それとも移住のニーズを踏まえて、歴史的なことに拘らずに緑などのキーワードを形として考えていくのか。これが景観づくりの方向性に関わってくるのではないかと思います。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>アンケート実施前の自分の意識としては、商店街のまちなみは飯能市の宝なので、そこを集中して伝統的な景観地区にしたいという思いがありました。しかしながら、アンケートの内容を読み取ると、必ずしもそうではないのかなと感じています。もうちょっと多様性がある形として、伝統的なものだけでなく、新しくても商工会議所のような建物が通りに建っていけば、飯能市らしさやイメージが醸し出されるのではないかと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>ただ目立てばいい、お客を呼びたいだけの派手な広告物は、まちなみの雰囲気にとぐわないと思います。それは市民の皆さんも分かっていると思うので、ある程度規制してほしいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>景観計画初年度の検討時にも論点として話した覚えがありますが、単に色や形や素材だけでなく、移住される方が求める住環境や景観について、こういう形で飯能市にあるよと言ってあげられれば、ぜひ来たいと思ってくれるでしょう。例えば空き家をリノベーションして迎え入れるときなどに、どのように空間や住宅のしつらえを魅力的に見せられるかは、景観のルールとして課題になると思います。それらを景観のルールとして表現することができれば、重点地区でも伝統的なものを持ちつつ新しいニーズを捉えたルールということで、古い建物が更新されるときにその風景が少しずつ育っていくような地域ができます。そんな景観のルールを検討して作成するといいいのではないかと思います。</p>

依田委員	<p>この問題はわりと繊細で、バランスよくしないとイケなくて、どちらか片方に行くのは良くないと思います。先ほどの空き家の話であれば、リノベーションをするときにどちらがいいかは、所有者の意向など微妙な問題が絡みます。単純に、この場所にあるからこちらと決められるものではないだろうという気がします。微妙な塩梅をうまく取って複層的な景観が生まれれば、飯能市らしいことができるのではないかと思います。</p>
会長	<p>ルールというものは条文のようになりがちですが、それが決まり切ってしまうと新しいものや面白いものが何もできなくなります。ルール自体はやんわりとしていいですが、ある地区の中で、この境界はこんなまちなみや景観の雰囲気をつくっていくのだというビジョンが大切になってくると私は思います。ある地区では、伝統的なまちなみの中に新しいニーズに応えるような、ゆったりとした敷地も許容していくエリアにしていきますよ、といった個性的なビジョンができてくるといいと思います。地区のビジョンに乗っかるような形で、方向付けとしての景観ルールがあるといいのではないのでしょうか。</p>
浅野委員	<p>みんなに共通する、こういうまちになるといいね、という枠組みができたならば、あまり細かいルールで縛るのではなくそのイメージを共有していく方向性がいいのではないのでしょうか。それぞれがイメージを捉えて、新しい建物が建っても、伝統的なまちなみにマッチする地区ができるといいな、と思います。</p>
吉田委員	<p>そういう意識があればいいですが、まちなかに空き地ができたときに、外部の方が急にぽんとマンションを建ててしまうこともあります。このエリアはこういうふうにしていきたいと思いますというものがあれば、外部の方が来ても尊重してもらえるのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>伝統的な景観の特性を生かしていく場合に、和風の要素をルールの中に入れていく基準がつけられて、景観が和の雰囲気を醸し出していきますが、それを共有する方が居てもいいし、それを必ずしも踏襲しないけれど、自然の面から和の伝統に合わせた形で住宅を構える方が居てもいいと許容するようなやり方もあります。</p>

浅野委員	<p>商工会議所は、伝統的なまちなみに対して新しい提案をしています。全体として、そういうところが共有されていくといいと思います。</p>
会長	<p>今回のアンケートを出発点として、景観計画を活用してこのエリアに何か新しいルールをつくる際に、単に基準の文言が並んでいるのではなくて、ちょっと新しいチャレンジとなるような景観計画上の制度を話し合っ、市民も参加していただくやり方ができないかと思います。</p> <p>他にご意見等はございますか。</p> <p>無いようですので、「集計結果に基づく分析内容について」は以上とします。</p> <p>次の議事は、「今後の進め方について」です。事務局から説明をお願いします。</p>
室岡主査	<p>現在飯能市がアンケートの結果及び分析等を踏まえた上で検討している方向性を本日皆様にお伝えし、その後、ご意見を頂ければと思います。会長の分析報告にもありましたとおり、景観基準の策定や重点地区指定を進める前に、なぜ景観づくりが必要であるのか、どんなまちづくりをしていきたいか、どんな取組が出来るかといった点について、行政、市民、事業者が一層認識を深めていく必要があると感じております。具体的には、市民が手軽に景観づくりに取組むことのできるボランティア活動や、まちなかの景観に意識を向けて頂くような取組、例えば埼玉県景観アドバイザー制度を活用したり、市民が気軽に参加できるような、専門家による講演会やワークショップ等を計画していきたいと考えております。</p> <p>また、現在飯能市には景観、まちづくりに特化した団体は組織されていないと認識しております。市民とともに景観づくりを具体的に進めていく上で、協議会やNPO団体といった何らかの組織において方向性やルールを検討することができないかと考えています。これが既存団体の枠組で行えるのか、又は全く新しい組織を立ち上げるのかに関して、来年度中には方向性をお示し出来るよう検討を進めているところでございます。</p> <p>こうした取組の延長線上に、景観に関するまちづくりプラン策定や</p>

	<p>重点地区指定、各種規制といった目指すべき目標があると考えています。現段階では、何年度までにまちづくりプランを作成して重点地区指定を行うという具体的な想定はしておりませんが、当初の景観計画策定時に審議会委員の皆様からご指摘頂いたように、市民の意見や考えを十分に反映することを念頭に置き、今後事業を進めていきたいと考えております。</p> <p>この市の考え方・方向性に対するご意見、市民の景観に対する関心や意識を向上するためのご提案がございましたら、事務局までご連絡頂ければと思います。今後の進め方に関する市の考えについては以上となります。</p> <p>今のお話によれば、市ではまず体制づくりということで、市民とともにこの審議会と関わりを持つような形で、景観のことを考えていく啓発活動などを企画していく。例えばあるエリアについてはまちづくりプランやビジョンのようなものを検討する機会を段階的につくっていく。重点地区について考えるのであれば当然景観形成基準が伴ってくると思うので、そういった検討にステップアップしていく母体となる体制について、次年度中くらいにご提案頂けるというイメージでよろしいでしょうか。</p>
会長	
室岡主査	<p>方向性を次年度中にお示しできればと考えております。</p>
会長	<p>委員の皆様からは何かご意見やご質問はございますか。</p>
本池委員	<p>40代、50代の人向けには軽い活動が鍵なのかなと思います。まちなかを元気にする会の会長をしていますが、頑張れる方とそれについていけない方とに二極化してしまい、結局組織そのものの活動規模がだんだん縮小してくることになります。ひとつひとつの活動を頑張りすぎてしまうのが問題なので、軽いけれど効力があって、いい形で景観づくりに繋がる配慮があるといいのかなと思います。会でも皆さんいろいろな活動をしていますが、それに賛同していただける方が少ないという懸念を感じています。どうやって広げていけばいいかを考えると、敷居が低くてちょっと試しにやってみるとか、そういう方向に気を配る必要があるのかなと感じています。</p>
会長	<p>意欲はあるけれど忙しいのでちょっと、と思っている方が、手軽な</p>

<p>本池委員</p>	<p>活動で楽しんでくれて、そこからきっかけになって・・・ということがあるとよさそうな感じはあります。</p> <p>その人たちが、少しずつでも持続的に5年10年のスパンで取り組んでいただけるようになればいいと思っています。どうしても、活動に対する成果を求めがちですが、成果が欲しいから頑張ってしまう。その結果、疲れてしまい、あるところで続かなくなってしまうというのは懸念として感じています。特に景観の分野では、住んでいる皆さんの共通意識として出来上がるものが多く、その醸成に結構時間が掛かるので、細く長く続けられる仕組みをつくる必要があると思います。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>市から今後の進め方を聞いて、当初この審議会で作成した際、最後に市民の参画のもとに改善していこうという合意があったと思いますが、それに向けての体制づくりをやっていただけのものと理解しました。ただ、協議会などではいろいろな団体の長が集まってそれで終わり、ということが現実的に多いので、景観に関して市民みんなが心待ちにしたよ、と盛り上げていく組織が本当にできるのかちょっと心配しています。もちろん行政がやるにはいろいろな方の意見を聞くということが本当に大事ですし、それと現実的な部分との折り合いをどうつけていくかが相当な壁かなと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>活動の経験から、こういうことを注意していただくといいですよ、というご注文はありますか。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>今はコロナウイルスの関係で活動が出来ていませんが、個々には景観を意識している団体があります。そういう団体や実際に動く人たちをフォローしてあげるような組織体ができないかなという気がします。</p>
<p>会長</p>	<p>実際に先導して動くような人たちが、持続的に一緒になってできるような状況をつくっていただければという感じでしょうか。コロナウイルスの問題と絡めると、きっかけとして新しいものを考えようというときに、こういう社会の問題があったから住環境や景観や地域のことを考えていくのは、最初の気持ちの高まりとしてはあるのではないのでしょうか。それを、途中で心が折れてしまわないようやんわりと続</p>

建設部長	<p>けられるようなサポートを市役所に考えていただけるといいのではと思います。</p> <p>市で実施する市民参画によるワークショップなどにおいては、往々にして特定の方が参加する傾向にあり、そうした方の発言が多数派として捉えられる場合が見受けられます。実際に、一般の市民の方から意見を聞く機会があるときなどにおいては、そうした意見が多数派でないことも多くあり、市民の平均的な考えに基づく施策を実施したい場合に、できるだけ意見を言っていただいている多くの市民の考えをお聞きし実施していきたいと考えております。</p>
会長	<p>他にご意見はございますか。</p>
古島委員	<p>少し話はずれるかもしれませんが、橋について。アンケートでも橋梁の景観は余り人気が高くありませんでした。漁業組合は川から見る立場ですが、名栗川橋や阿須の鉄橋、都内では隅田川に架かる橋など特徴的なものがたくさんあります。橋は一回つくと百年近くそのままの形で残るので、景観とマッチさせないと違和感を覚えることになります。例えば、ヨーロッパではほぼ全ての橋の欄干や親柱の上に彫刻が存在します。本来なら無くてもいいものが付いているのは、ある意味文化の象徴である気がします。今後、市内の橋を架け替えていく際は、通りやすいだけでなく綺麗な橋になっていったらいいなと思います。</p>
会長	<p>橋梁の景観検討は、なかなかされないのかもしれませんが、そのあたりはいかがでしょうか。</p>
建設部長	<p>市では、橋梁の長寿命化修繕計画を策定しております。市内に通常使用している橋が400橋以上ございますので、悪くなったから架け替えよう、では予算がいくらあっても追いつきません。基本的には長く持たせようということで、毎年約80橋ずつ、5年に1度程度点検をしており、その中で特に悪いものから順次、例えばコンクリートの中に特殊な薬剤を入れるなどの補修を実施しています。新しい橋でも、小岩井の斜面に栈橋のような橋を架けていますが、県内にいくつもない珍しい構造になっていると聞いています。また、橋の途中にデッキのようなものをつくって周囲の景観を見ることが出来るものもござい</p>

	<p>ます。市内には様々な構造の橋が存在し、風景とマッチとしているものもありますので、興味を持ってご覧いただければと思っております。</p>
古島委員	<p>市内にそれだけの数の橋があるのですから、ひとつずつデザインを変えるだけでもイメージが良くなるのではないのでしょうか。</p>
建設部長	<p>例えば、流れ橋は市内に 10 橋くらいございます。中には自然石の上に板が渡してあるようなところもありますので、景観的には面白い橋だと思います。</p>
会長	<p>他にご意見はございますか。</p>
本池委員	<p>今後進めていく際に、一般市民の方を巻き込むような仕組みをつくりたいのですが、飯能市だとなかなか難しいと感じています。</p>
吉田委員	<p>若い方は時間的に制約があるから難しいのでは。先ほど長い目で見るとの話もありましたが、ある程度のスピード感も欲しいです。何年も掛かると商店街がもたないのではないのでしょうか。また、古い建物も世代が変わると壊すことにもなりかねません。</p>
会長	<p>以前、審議会で重点地区の候補の中から中心市街地を選んでいこうと決定しましたが、それに対するスピード感が必要なのではないのでしょうか。今は、まちの活性化をはじめいろいろな問題が錯綜していますが、審議会の成果を出すということから言えば、そういったものを睨みつつ、主軸となるテーマを次、次とステップアップしていく必要があります。重点地区として飯能市のシンボルとなっているのはまだ宮沢地区のみという状況なので、そこを解消していくことが使命ではないのでしょうか。市民アンケートを実施しました。このあと何をどうするか、次のステップが見えにくくなっているので、必要に応じ委員から意見聴取したうえで事務局にお考えいただけないのでしょうか。</p>
建築課長	<p>本日いただいたご意見を参考にしながら、事務局で検討いたします。また、必要に応じ委員の皆様へご連絡をとらせていただきます。</p>
浅野委員	<p>現在商店街のメインになる建物がどんどん取り壊されています。先</p>

<p>会長</p>	<p>ほどの体制づくりは少し時間が掛かりそうなので、それと並行してまちなかの重点地区検討も進めてほしいと思います。</p> <p>先ほど本池委員のお話にあった、重点地区の検討と体制づくり以外に実質的な市民とのイベントがあるといい、というのは面白いと思いました。地域の人たちと外からの目線はどうも違ってきます。飯能市のまち歩きがメインではなくて、市外の人たちが地域のユニークな、あるいは伝統的な建物の所有者等と交流、例えば一緒に食べたりすることで、外から来る方はこういう建物や場所を面白いと思っているのかという驚きや喜びを地域の方たちに感じてもらう、そんな接点が必要なのではないかと思います。ちなみに、今までにそういう手法を採ったことはあったのでしょうか。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>まち歩きでは、建物の中に入れていただいて所有者の方から話を聞くことはありましたが、一緒に食事をするようなことはありません。</p>
<p>会長</p>	<p>地域、特に重点地区で暮らしている方々が外からの目線を凄く感じて、外の人たちと交流することは楽しいと感じられるイベントがあるといいのではないのでしょうか。重点地区に向けて準備する作業のほかに、市役所とまちづくりに関わる団体とが連携して、1回限りでなく定期的を開催していければと思います。</p>
<p>建設部長</p>	<p>似たようなものとしては、エコツアーの中で市街地にある特徴的な建物について、ガイドが紹介しながら歩いていただく取組がございます。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>はんのう大学というものが立ち上がっていて、そこでは外部の方も含めてまちの歴史等について学習しています。その場を利用して交流する取組が可能かなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>それらの取組をつないで少しずつ勉強していき、最終的にその地区の景観のあり方について話せるような流れができると面白い気がします。</p>
<p>依田委員</p>	<p>40代、50代の方が普段どこに出掛けるのか、また何かのグループ</p>

<p>会長</p>	<p>に参加するというよりは、違う目的で行ったらたまたまアンケートをやっていた、くらいの気軽さであれば参加するかなということを考えていました。以前、山梨県甲府市でワインのお披露目をする機会に、テントを借りて景観のアンケートを実施したことがあります。そうすると、普段は全然市役所に足を運ばないような人が回答してくれました。今はイベントを開催できる状況にありませんが、フリーマーケットや農作物の販売をするところなど、日常で使われている場面に絡められるといいと思います。</p> <p>他にご意見等はございますか。</p> <p>無いようですので、「今後の進め方の検討」を以上とします。</p> <p>本日の予定された議題は以上ですが、最後「その他」について委員の皆様から何かありますか。</p> <p>無いようなので、事務局からは何かありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>最初に、令和元年度の景観計画に基づく届出件数についてです。昨年度は6件あり、うち4件が鉄塔等の工作物に関する届出、2件が建築物に関するものでした。なお、景観形成重点地区内での届出はございませんでした。</p> <p>次に、埼玉県及び飯能市が共催で、毎年秋に吾野地区で行っているまち歩きに関してご報告いたします。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止といたしました。それに代わるものとして、埼玉県と共同でVRカメラを利用した、まち歩きを疑似的に体験できるような取組を進めております。既に現地を撮影済で、公開に向けて調整を行っております。また、吾野宿に存在する歴史的建造物等に関する昔の写真をデジタルアーカイブとして一般の方々に公開するため、関係者の皆様から写真の提供を募っているところです。どちらも、出来上がりましたら委員の皆様にご案内したいと思います。</p> <p>昨年度から現在にかけて取組んでいる景観に関する事業についてのご報告は以上となります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。本日の議題は以上となります。それでは、進行を事務局にお返しします。</p>

建築課長	<p>深堀会長ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様におかれましても、長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、「第 1 回飯能市景観審議会」を終了させていただきます。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>議長の署名 _____</p>	